

黒川（赤子ヶ淵）

| | | | |
|---|---------------|-----------|---|
| 所在地 | 長野県下伊那郡清内路村石割 | 種類 | 川 |
|  | | | |
| 概要 | | | |
| <p>黒川上流は美しい渓谷が連なり、豊かな自然を求めて渓流釣りやハイキングを楽しむ人でにぎわっている。新緑の季節は川面に映る景色に心洗われ、季節の山菜を探しての散策や、秋には紅葉もあり訪れる人が絶えない。</p> <p>赤子ヶ淵は飯田から清内路への入口として縄文時代から古道が通っていた。その名を示すように、この淵には飯田城主滅亡にまつわる悲しい伝説が残されている。</p> | | | |
| 水質・水量 | | | |
| 水量は豊富で過去から水量の変化はほとんどない。 | | | |
| 周辺環境 | | | |
| 中央アルプス（木曽山脈）摺古木山を源に、多数の沢から清流を集め、清内路川、阿智川をへて、天竜川へ注ぐ豊かな水源の源となっている。 | | | |
| 利用状況 | | | |
| 自然豊かで、新緑の季節は川面に映る景色に心洗われ、季節の山菜を探しての散策や秋には紅葉もあり、村内はもちろん飯田市や中京方面から、多くの人々が訪れる。 | | | |
| 水環境保全活動 | | | |
| 「清内路村河川愛護会」をはじめ、地元有志等多くの人々が周辺の清掃や草刈など環境整備に取り組んでいる。 | | | |

故事来歴

戦国時代、織田信長の軍勢を逃れて木曾谷へ脱出を試みた飯田城主坂西氏は、幼い嫡男信千代を家臣に託した。しかし、清内路に入る頃には空腹と疲れから虫の息になり、この淵でついに息絶えてしまった。その後この淵では赤子の声が聞こえるようになりいつの頃からか誰となく赤子ヶ淵と呼ぶようになったと伝えられている。

アクセス

中央道・飯田南1より車30分 園原ICより車40分

<マップ>



お問い合わせ

清内路村役場総務課生活環境係

〒395 - 0401 長野県下伊那郡清内路村375番地1

TEL : 0265 - 46 - 2001 E-mail : info@seinaiji.jp

当該湧水等のURL

<http://www.seinaiji.jp/index.html>